

草木萌動

令和5年3月3日 No.40

学校教育目標

深く考え、心豊かな、
思いやりのある たくましい子

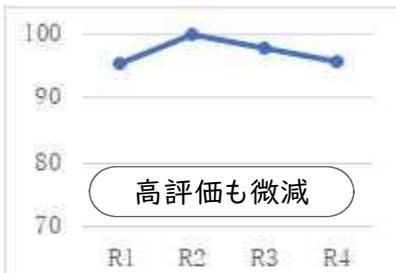
3月に入りました。いよいよ令和4年度も締めくくりの時期を迎えました。三寒四温のごとく、季節は確実に冬から春へと移ろいはじめました。本校では先週末から、インフルエンザが猛威を振るう中、学年閉鎖等の措置を講じながら対応しています。急なお願いにもかかわらず、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。引き続き、手洗いやうがいの励行、規則正しい生活などの体調管理に努めてまいります。さて、今号では、学校評価アンケートの結果を最終版としてお伝えします。

学校評価アンケート結果②

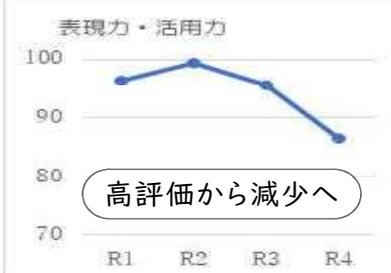
保護者アンケートの 経年比較(各年前期比)

(「よくあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合を比較しています)

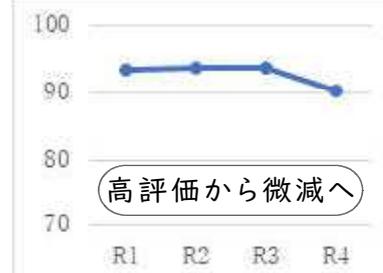
基礎基本・学力向上 学習のきまり



主体的な表現力の育成 学びを生かす力の育成



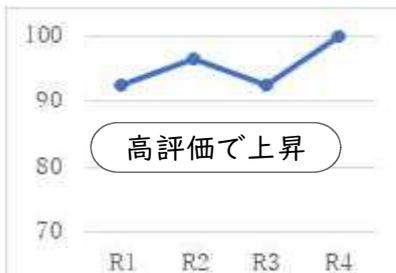
挨拶・返事・整理整頓 基本的な生活習慣



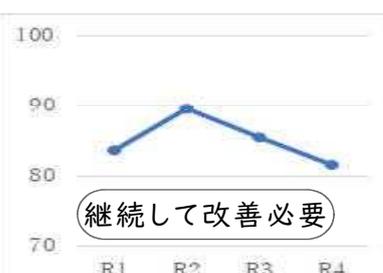
道徳教育の充実 豊かな心の育成



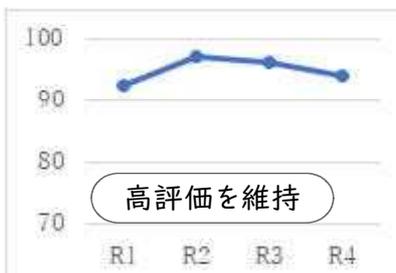
心身ともにたくましい 子どもの育成



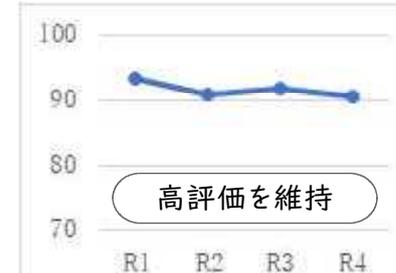
いじめの未然防止 早期発見の取り組み



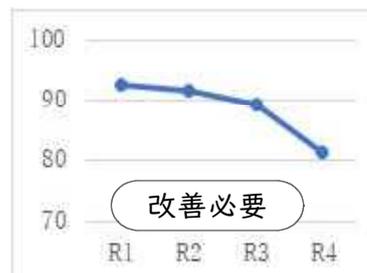
安全指導や安全教育の充実



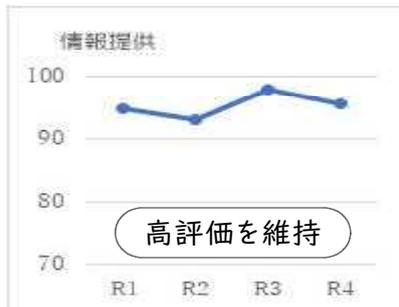
地域・保護者との連携協働



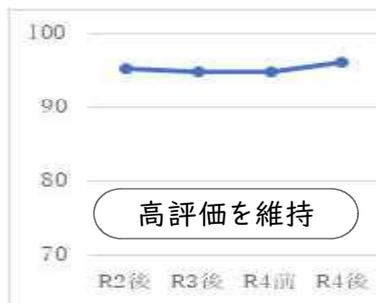
幼保小中連携



学校からの情報提供



学校の新型コロナウイルス感染症予防対応



新型コロナウイルス感染症の対応については、引き続き高い評価をいただきました。感染が拡大する中、子ども達の安心と安全を最優先に、限られた人員と予算の中で最善を尽くしてまいりました。これも、日々の感染予防や健康観察シートへのご協力など、保護者の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございます。

また、2月も下旬に入る頃から、本校でもインフルエンザに罹患する児童が増加傾向にあります。これまで学級閉鎖の措置を講ずるなどの対応にもご理解とご協力をいただいております。新型コロナウイルス感染症の拡大から学んだことを基本に据えて、インフルエンザ等の感染症の予防にも力を尽くしてまいります。

引き続き、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

保護者の皆様から寄せられた意見・要望など(概要)

今回の学校評価では、7件の記述での回答をお寄せいただきました。ここでは、それぞれ概要として紹介します。

- ◇ 家庭学習に関すること
⇒ 宿題や解き直し等の家庭での役割等について
- ◇ いじめ等の対応に関すること
⇒ 学級経営及び担任と児童のかかわり方について
- ◇ あいさつなど基本的な生活習慣に関すること
⇒ 『あいさつ』の大切さを再認識し、家庭と学校が連携して取り組むことなどについて
- ◇ コロナ禍における学校行事に関すること
⇒ 運動会や校外学習等の持ち方や進め方等について
- ◇ 学校施設に関すること
⇒ 週休日(祝日)のリンク開放や降雪時の除雪等について
- ◇ 教育活動に関すること
⇒ 令和の日本型学校教育(主体的で対話的な深い学び)

来年度の教育活動推進に向けて ~以下の視点で取り組んでまいります

- ① 研修部・教務部主導で**授業改革**を全校で推進すること ~主体的・対話的で深い学びの構築~
- ② 教務部・道徳教育推進教諭を中心とした道徳の計画的な取り組み、授業参観での授業公開など
- ③ 生徒指導部を中心とした『自己決定・自己肯定感・共感的な人間関係の構築』などの継続した取り組み
- ④ ウイズコロナを見越した活動の再構築(児童会活動や異学年交流)など
- ⑤ エリアファミリーでの情報交流、地域・保護者・教職員への情報提供など
※ さらに、①~⑤の活動の様子や内容を、家庭や地域に知らせる手立てのさらなる充実
- ⑥ 働き方改革 ~コアチームによる組織的・計画的な運用~

後期学校評価にご協力いただき、ありがとうございました

後記

今号の標題「草木萌動(そうもくめばえいずる)」「七十二候のうちの一つ」は、やさしく照らす陽光のもと、ほんのりと薄緑に色づく草木が見られる頃を言います。寒い冬を耐え忍んだ新しい命が、春の訪れを感じいっせいに芽吹き始めます。ここ北海道では、もう少し先になりそうですが、冬から春への移ろいは、日々実感するところです。ここ数日は気温が上がり、雪どけも進みそうです。屋根からの落雪など学校でも指導しますが、ご家庭でもお話しください。

